



地震について知る

南海トラフ地震においては、家屋被害は約860軒が全壊になると予想されています。
お住まいの地域がどの程度揺れる可能性があるか確認してください。

南海トラフ地震
について



善通寺市の震度分布予測図 (南海トラフ地震最大規模の震度想定)

震度6強

- ◆ 這わないと動けない。
- ◆ 耐震性の低い建物は倒れることが多くなる。



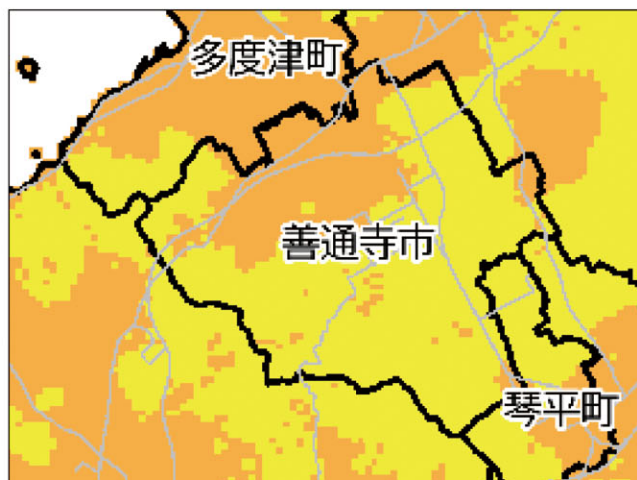
出典：気象庁

震度6弱

- ◆ 立っていることが難しい。
- ◆ ガラスが割れることもある。



出典：気象庁



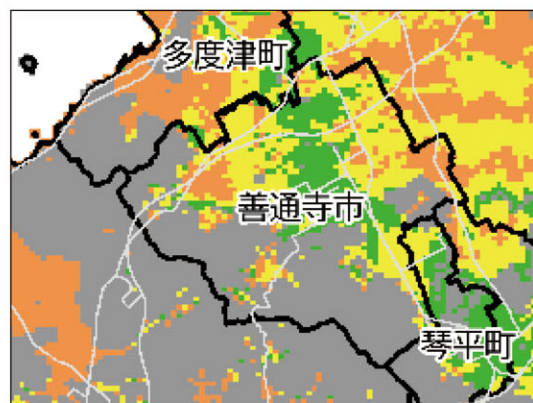
令和7年 香川県地震・津波被害想定調査報告書

善通寺市の液状化予想図 (南海トラフ地震最大規模の震度想定)

液状化とは、地震が発生したとき、地盤が液体状になる現象です。
市内の液状化予想を確認しましょう。

液状化危険度

- 液状化危険度が極めて高い
- 液状化危険度が高い
- 液状化危険度が低い
- 液状化危険度がかなり低い



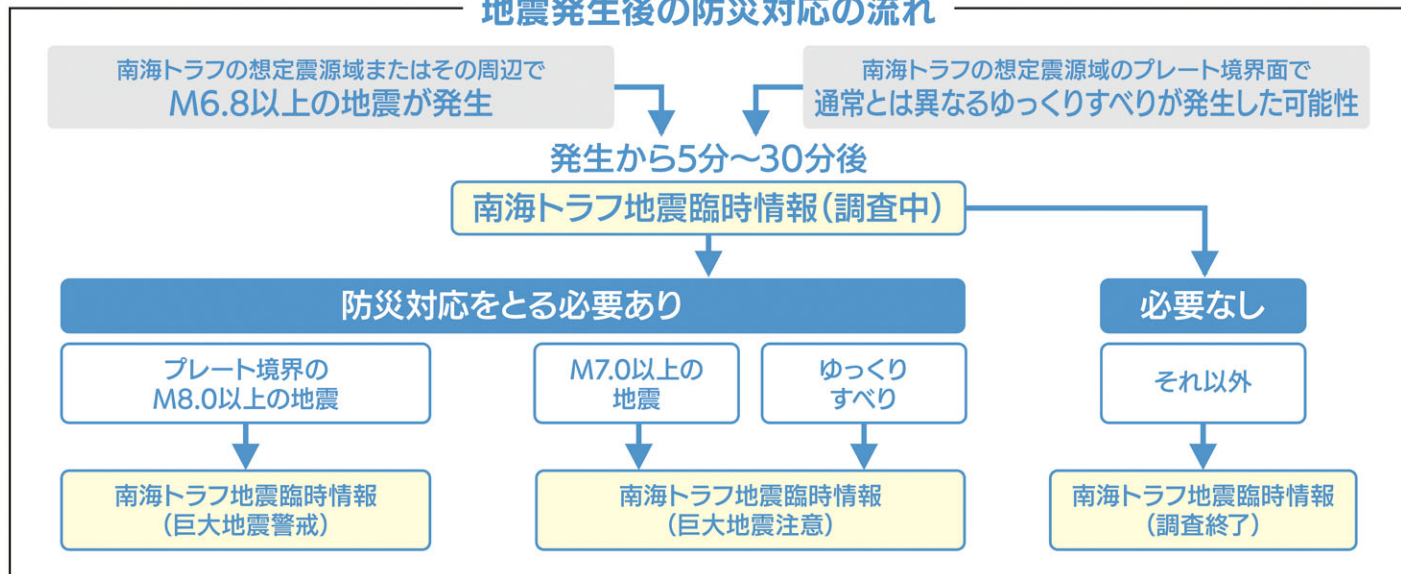
令和7年 香川県地震・津波被害想定調査報告書

南海トラフ地震臨時情報

南海トラフでは、過去に32時間後や約2年後に時間差で大規模な地震が発生したことがあり、時間差で発生する大規模な地震に備える必要があります。「南海トラフ地震臨時情報」は、例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する可能性が高まった場合などに気象庁より発表されます。

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、日ごろからの地震の備えを再確認しましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



※「南海トラフ地震—その時の備え—」(内閣府・気象庁)より作成